

小学校 2年 算数科

考える × 話す・聞く 書く

育成したい 国語力

分からない点について尋ねる。「わけ」を明らかにしながら、話す。「わけ」を明らかにしながら、書く。

分からないこと、尋ねたいことに気付きながら聞く。「わけ」を聞き取る。

単元名

「かけ算」

本時の目標

- かけられる数とかける数の意味が分かり、全体の個数の求め方について考えることができる。(数学的な考え方)
- 基準量が何なのかを判断して立式し、答えを求めることができる。(表現・処理)

国語力育成の視点

算数科の授業では、一斉授業の形態での子どもと子ども、子どもと教師による話し合い、討論、練り合い等が重視されています。しかし、実際には「自分の考えを書けない(文や図)子ども」「自分の考えを話せない子ども」「発表はできるが練り合いができない子ども」等様々な子どもがいます。これでは、一部の子どもによる「発表会」にすぎず、「話し合い・練り合い」とは言えません。そこで指導者は、これらの子ども達に、話し合いのための基礎となる「話す・聞く力」「書く力」を確実に育成するために、系統的かつ計画的な指導をしていく必要があります。そのことによって話し合いが充実し、考える力(数学的な考え方)を伸ばしていくことができると考えられます。

本時の流れ

導入

問題の把握

だんごが4くしあります。1くしには、だんごが5こずつさしてあります。ぜんぶでなんこになりますか。

本時のめあての確認

1つ分の大きさを見付けて式を立てよう。

展開1

個別 自力解決

式と答えを書いてから、絵や図、言葉で説明をノートに書く。式が立てられない児童には、数図ブロックなどを使って式を考えるようにさせる。

展開2

グループ 練り合い

自分の考えた計算の仕方を発表する。絵や図をもとに、「1つ分の大きさ」や「いくつ分」について話し合う。かけ算の式は、「1つ分の大きさ×いくつ分」であることを確認する。

展開3

個別 練習問題

1つ分の大きさやいくつ分を確認しながら練習問題を解く。

テープを4本つなぎます。テープ1本の長さは3cmです。ぜんぶで何cmになりますか。

まとめ

一斉 本時のまとめ

今日の学習で分かったことや発見したことを書く。

次時の予告

視点①

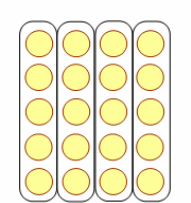
指導者の共通理解

児童が自分の考えを安心して発表するためには、学級の中に一定の約束ごとが必要です。「学習のつけ・学習規律」と呼ばれるものです。それにより発表が活発になり、話し合いが成立し、考える力の育成が可能となります。

また、計画的に国語力の育成を図るためには、各学年において、どんな力をどこまで付けるのかなど、学校全体でねらいと内容を明確にして、取り組むことが大切です。

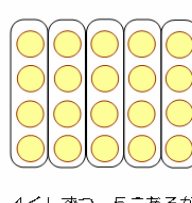
誤答例

5×4=20
こたえ 20こ



5こずつ、4くしあるから5に4をかけてこたえ 20こです。

4×5=20
こたえ 20こ



4くしずつ、5こあるから4に5をかけてこたえ 20こです。

視点③

教育課程実施状況調査報告(H18.7.14)での課題に

- 「自分なりの考えを図や式、言葉で説明する力」
- 「友達の式や図などから考え方を読み取る力」

「考える力」育成のための授業改善の配慮事項

自分の考え方や求め方などを言葉で説明する場面を設ける。

求め方などを図に表現した上で説明する場面を設ける。

等々があげられています。

まず、ノートに書き、それを練り合いに生かすことが大切です。

視点②

計算の仕方を言葉で書く

計算の仕方を説明できる力を育てるためには、低学年からの説明を言葉で書くノート指導が大切です。

言葉での説明を文字にすることに慣れさせる

<例1> 補数の学習 1と9で10……等

<例2> 7+4=11 はじめに、4を3と1にわけるつぎに、7と3をたして10……

視点④

まず、教師が話し方の手本を

意見はたくさん出てくるけれども、聞き手を意識した話し方ができなかったり、順序よく話せなかったりする段階では、まずは教師が話し方の手本を示していくことが大切です。

<例1>

子どもの発表を少しずつ区切り、「ここまではいいですか」と確認を取りながら話しを進める。

分からない子には「ここが分かりにくいのでもう一度説明してください」と質問させて、再度説明させたり、他の子どもに別の説明をさせる。

疑問を大切に作る雰囲気づくり

<例2>

話し合いの中で、子ども達は結果だけを述べて終わることが多い。それを見逃すことなく、結果に至る過程とその理由を必ず言わせる。

a 結果とそう考えた過程を述べること

b なぜ、そう考えたのか理由を述べること

<指導> 「まず、どうしたの」「次にどうしたの」「それでどうなったの」「どうしてそうしたの」等の発問をする。

算数科で育てたい力と話し方例

	考える	聞く力	話す力	思考力を育てる話し方例
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ○自分なりの考えをもつ ○一つ一つ順序よく考える 	<ul style="list-style-type: none"> ○話す人の発表をだまって最後まで聞く ○話す人の顔を見て聞く ○人の考えを理解しようとしながら聞く ○人の考えと自分の考えを比較しながら聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ○大きな声ではっきりと話す ○自分の考えを、理由をつけて最後まで話す ○自分の考えを絵・図・半具体物を使って、順序よく話す 	<ul style="list-style-type: none"> ○それは、～だからです。 ○わたしは～と思います。 ○わけは、～だからです。